

A decorative background consisting of numerous blue circles of varying sizes and thin, light blue lines that create a network-like pattern, primarily concentrated on the right side of the page.

保育現場からコロナ 対応について考える

一般社団法人 日本保育者支援協会

顧問 新保 庄三 (しんぼ しょうぞう)

コロナ対応について

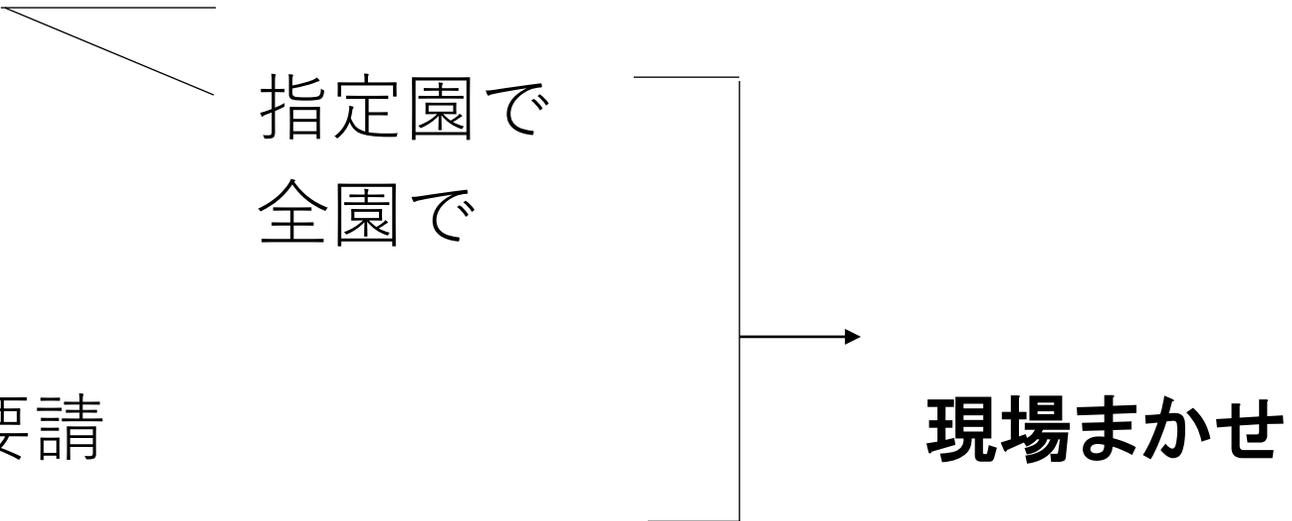
1、コロナの自治体の取り組み

1) 休園

指定園で
全園で

2) 自粛要請

3) 開園



現場まかせ

2、防げない どこでも起きる 玄関まできている

1) 起きるという覚悟

2) シュミレーションをする

①起きた時

②休園中

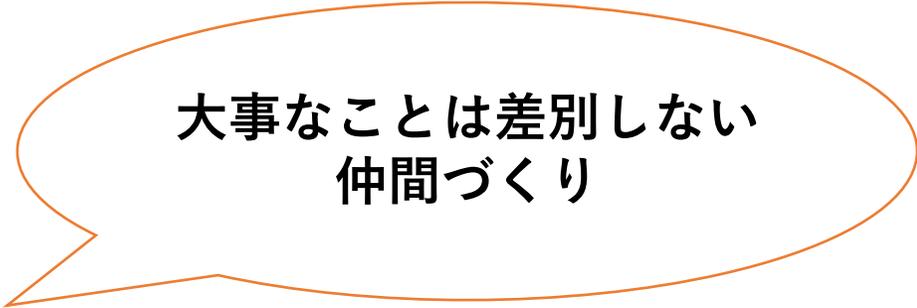
③開園の時

3) 大切なことは

自園の子どもの発達を保証するのは自分であるという自覚



コロナ禍の新しい保育をつくる



大事なことは差別しない
仲間づくり

クライシスマネジメント

将来を左右する分岐点

発生した場合、可能な限り迅速かつ適切な対応をとることで
平常状態へ復旧させることを目的としている

クライシスとは

「危機が発生した場合」のこと

コロナ禍における保育環境活動事業

- 東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (Cedep)
遠藤利彦先生・野澤祥子先生と
保育環境などについての研究協力
- 野澤先生と「自園で新型コロナウイルスがでたとき」共著

※書籍をご希望の場合は、日本保育者支援協会までご連絡ください

緊急出版 「うつることも、うつすこともある」を想定して

自園で感染者が出たとき

新型コロナウイルスの

事例に学ぶ
保育園・幼稚園・こども園ですぐにすること・日頃から備えておくこと

イラスト多数
巻頭カラー
チャート付

小さな子どもたちの生活の場である保育園・幼稚園・こども園。今、どの園で陽性者が出てもおかしくない状況です。
自園で陽性者が出たときの対応は？
日頃からどんな備えをしておけばよいか？
感染予防と保育とのバランスは？
今すぐとるべき具体的な対応策や課題をコンパクトにまとめました。

● A5判・72頁・定価(本体800円+税)
ISBN978-4-89464-274-4

編者 新保庄三 (一般社団法人日本保育者支援協会顧問、子ども総合研究所代表)
野澤祥子 (東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター(Cedep)准教授)
発行/一般社団法人日本保育者支援協会 発売/ひとなる書房

消毒やマスク着用
のお願いなどは父
母以外で迎えにく
る人にも伝える

園舎内に入る乳児
の保護者は受け入
れ室で検温する

第一部 自園の職員が新型コロナウイルスに感染したら
1 職員陽性判明の一報から休園・保育再開までのドキュメント
2 事例をもとに対応のポイントをさぐる

第二部 毎日の保育をどう進めるか
1 保育現場における感染予防策の実際
2 コロナ禍での保育を支える職場づくり

コロナ禍における保育環境活動事業

- 保育環境を良くする機器開発
協力事業

- AI検温パスポート
(株) フューチャースタダード

〒113 - 0033 東京都文京区本郷3-15-2

本郷二村ビル5階

URL : <https://futurestandard.co.jp/>

※詳しくは、協会までお問い合わせください



具体的な事例を通して コロナ禍の保育園運営 を考える

一般社団法人 日本保育者支援協会

顧問 新保 庄三（しんぼ しょうぞう）

園長（リーダー）の考えるワーク

わからせようとすることが問題

やらせようとすることが問題

なぜ問題か

わからないことを否定しない

できないことを否定しない

事実を肯定する

ではなぜわからないのか

やらせようとするのが問題

ここにポイントを置いて考える

その人にあった

指導をチームで考える

具体的な対応策
(ベストではなくベターな考え)

具体的な対応策

(ベストではなくベターな考え)

- ・ 目標を下げる
小さな成功事例からしか実践は生まれない
- ・ 実践方法の答えは1つではない
違うやり方を考える
自分だったら、相手だったらどう考える
- ・ キーワードは 「プライド」

保育力はチーム

あなたの園は、あなたのクラスはどこのラインにいますか

- A 相談・報告・連絡ができている（コミュニケーション）
- B 保育の質のバランスがいい（保育の技 - 保育の水準）
- C 全職員が同じ方向を向いている（こころざし）

1、職員同士は
笑顔・挨拶 + 今日の健康状態を話す

2、保護者には
名前を呼び 挨拶 そして一言

3、子どもには
1日1回子どもの目をしっかり見て
笑顔で名前を呼んで抱きしめる

3週間、3か月継続して自分の力にする

弱音のはける場所がある（相談室を設ける）

目的

職場の安定

+

保育の安定

一般社団法人 日本保育者支援協会

102-0071

東京都千代田区富士見 1 - 1 1 - 1 3 - 1 0 1

【TEL】 03-3221-0221 【FAX】 03-5275-9098

【EMAIL】 kosodate0221@abeam.ocn.ne.jp